

FY2019 Annual Report for International Joint Research with Research Fund
International Joint Digital Archiving Center for Japanese Art and Culture (ARC-iJAC),
Art Research Center, Ritsumeikan University

Date (year/mm/dd): 2020/04/27

1. Title of the Research Project	
Research on Construction of Global Archive of Playbill by Utilizing Art Research Center Banzuke Portal Database	
2. Research Leader	
Name	Organization and title
Masae KURAHASHI	Project Researcher, Ritsumeikan University
3. Co-researcher (Total: 3 persons)	
Name	Organization and title
Takaaki KANEKO	Associate Professor, Ritsumeikan University
Saho MIYAZAKI	M2 Student, Ritsumeikan University
Izumi AOYAMA	研修生, Ritsumeikan University

4. Overview of the Research Project (About 150 words) Note: If you have changed your project since the time of application submission, please write clearly where you made changes.
<p>江戸時代の演劇や相撲、見世物などの興行で、宣伝のために作成されるポスターやチラシ、パンフレットなどを指して「番付」と呼ぶ。番付は宣伝効果を狙うために、興行が始まる前から大量に制作され、広く配布・販売された。これらは分野ごとに膨大な数が残存しているが、ほとんど整理されることがないままに残されているというのが現状である。番付は興行そのものを直接に記録した第一次資料であり、またその残存数の多さから、ビッグデータ型の文化史資料群としての価値を持つ。</p> <p>本研究では、日本各地、あるいは世界に散在する番付について、アート・リサーチセンターが浮世絵や古典籍で展開した方法と同様の手法を用いて、番付をデジタル撮影すると同時に番付に記載されている興行情報もデータベース化する。このことにより、これまでに存在しなかった大規模な興行年表データベースの構築を目指すものである。</p>
5. Overview of the Research Results Note: We may use this section for the Center's PR.
<p>2019 年度には、昨年度(2018 年度)にデジタル撮影した個人の歌舞伎研究者が所蔵する上方芝居番付を中心とする番付コレクション約 390 点の画像を、ARC 番付ポータルデータベースに組み入れた。その上で各番付の上演を考証し、その上演情報を ARC 番付ポータルデータベースへ反映させることによって、興行データベースの基礎となる情報の充実を図った。</p> <p>また 2019 年 9 月には、「ARC 番付ポータルデータベースを活用した興行番付のグローバルアーカイブ構築研究 歌舞伎興行と番付」研究会を立命館大学アート・リサーチセンターで開催した。</p> <p>さらに、19 世紀前半の上方芝居の番付帖 2 点を購入した。この芝居番付帖については、今後アート・リサーチセンターでデジタル撮影の上、ARC 番付ポータルデータベースに組み入れる予定である。</p>

6. Research Activities

(1) Books

- ・『歌舞伎評判記集成 第三期 第三巻』、共著、2020年2月、和泉書院、役者評判記刊行会編、執筆者：黒石陽子・倉橋正恵・水田かや乃・野口隆・齊藤千恵・光延真哉・池山晃・佐藤かつら・田草川みずき・神楽岡幼子、担当頁数『役者馴染衣』pp. 331-350、『役者馴染衣(解題)』pp. 447、査読無

(2) Articles

- ・(資料紹介)志水文庫所蔵『役者似顔給金付』六種、単著、2019年6月、神戸女子大学古典芸能研究センター、『神戸女子大学古典芸能センター紀要』13号、倉橋正恵、pp. 34-64、査読無

(3) Presentations

- ・「歌舞伎番付とは」、2019年9月、ARC番付ポータルデータベースを活用した興行番付のグローバルアーカイブ構築研究」歌舞伎興行と番付研究会、立命館大学・京都市、倉橋正恵、査読無
- ・「節用集形式の劇書—『戯場節用集』を中心に—」、2020年2月、「異分野融合による「総合書物学」の構築：文化・情報の結節点としての図像」研究会、国際日本文化研究センター・京都市、倉橋正恵、査読無

(4) Symposiums and/or research meeting you organized

- ・「ARC番付ポータルデータベースを活用した興行番付のグローバルアーカイブ構築研究」歌舞伎興行と番付研究会、立命館大学、2019年9月、7名

(5) Other research activities (Lectures to the general public, and appearances in/contributions to mass media)

- ・「歌舞伎名作案内 103 傾城反魂香」、『演劇界』2019年11月号、倉橋正恵、演劇出版社、pp. 104-105、2019年10月
- ・「歌舞伎名作案内 108 心謎解色糸」、『演劇界』2020年3月号、倉橋正恵、演劇出版社、pp. 104-105、2020年2月

(6) Academic awards

(7) Grants-in-Aid for Scientific Research -KAKENHI

- ・「歌舞伎興行と近世期出版活動における連動性についての発展的研究」、基盤研究(C)、2017年4月—2021年3月、倉橋正恵(研究代表)

(8) Competitive grants other than KAKENHI

(9) Other achievements